

ながはま 見聞録

Nagahama Hotnews

このコーナーは、長浜の見どころ、市民の皆さんの活動の様子やまちで見かけたほっとな話題を紹介します。あなたが知っている旬の話題などがあれば、市民広報室（☎65-6504）までお知らせください。市公式Facebookページでもさらに詳しくみることができます。

<https://www.facebook.com/nagahama.hotnews>

「長浜 ほっとにゅーす」 検索

11月2日(日) 戦国武将の生き方に想いを馳せて

秀吉を支えた秀才・三成の出身地で知られる石田町で「石田三成祭」が開かれました。

イベントは、武将隊による勝ちどき、和太鼓やダンスなどのステージ発表、三成にちなんだ戦国屋台や飲食ブースが軒を連ねたほか、講演会、資料展なども行われ、県内外からおおよそ1,500人が訪れ、終日三成を想う大勢の人で賑わいました。



11月2日(日) 入るわけがないと誰もが見上げる高さに挑戦

国宝十一面観音にちなんだ「高さ11mの玉入れ大会」が、高月図書館出合いの森広場で行われました。これは、地域を盛り上げようと様々なまちおこし活動を行う「高月にぎやかし隊」が主催したもので、今回で4回目を数えます。

参加者らは、通常の3倍の高さにある籠になかなか届かず苦戦するも、なんとか玉を入れようと挑戦を楽しみました。

11月2日(日) 楽しく多文化共生 食と文化で世界巡り

地域に暮らす外国人と日本人が交流し、異文化への理解を深め合おうと「ながはま多文化共生フェスタ」が臨湖で開催されました。

会場では、記念講演や「やさしい日本語講座」、国際カラオケ大会などが行われ、立ち見が出るほどの盛況ぶり。他にも民族衣装の試着、姉妹都市関連の展示、10か国の屋台料理など盛りだくさんで、訪れた人は思い思いに異文化を楽しみました。



11月2日(日)、3日(月・祝) 「よっ! 待ってました」 町衆による手づくり歌舞伎

街中を活性化しようと、市民有志で作る「長濱ゆう歌舞伎」が今年も開かれました。

歌舞伎を演じる役者らは一般公募で集められ、今回は専門スタッフが作った舞台に小道具も新調して、さながら歌舞伎座のよう。

満員となった会場で「大石東下り小田原本陣宿の場」と「神霊矢口渡頼兵衛住家の場」の2つを演じ、観客から大きな拍手が送られました。



結婚して大好きな人と毎日顔を合わせる事ができる。それが何よりの幸せです。心配事もあるけど、結婚して良かったと思います。

Happy Happy

山田ロドリゴさん ♥ ダニエリさん
平成25年8月ご結婚
〈平方町〉

このコーナーでは、概ね1年以内にご結婚された幸せなお2人をご紹介します。掲載にご協力いただける人は、社会福祉課(☎65-6536)までご連絡ください。

11月2日(日) 夢に前進 本物のメスを使いました

子どもたちに医療に関心を持ってもらおうと、実際の医療器具を用い、医師が指導する「医師体験ワークショップ」が長浜赤十字病院で開催されました。

手術やエコーなど本番さながらの体験に、子どもたちは緊張した様子でしたが、真剣な表情で取り組みました。

主催した湖北医師会の手操会長は「参加者が実際に医師になり、将来湖北地域で活躍してもらえれば」と話していました。



11月3日(月・祝) ベストセラー作家講演で地域の魅力を再発見

長浜の観音文化の魅力を改めて多くの人に知ってもらおうと、「観音文化講演会」が浅井文化ホールで開催されました。講師に作家の五木寛之さんが招かれ「慈のこころ・悲のこころ」をテーマに、時折ユーモアを交えながら語られました。

定員を大きく上回る応募があったことから、余呉と木之本でパブリックビューイングも実施され、3会場合わせておよそ700人の市民が、五木さんの話に熱心に耳を傾けました。



11月8日(土) 余呉の名産品ズラリ ご賞味あれ!

地元で採れた農産物の収穫祭「余呉湖まつり」が余呉湖はごろも市周辺で開催され、米や白菜、大根、余呉特産の山かぶなど旬のものが並びました。

また、ステージパフォーマンスや『出張』よご子どもミュージアム、ロードトレイン、外来魚駆除釣り体験なども行われ、たくさんの親子連れで賑わいました。

